

実践記録

101

シリーズ



カヌー体験

自然の中で磨く心と体「小さな冒険学校」

新潟市大畑少年センター

所長 小林 剛

1 はじめに

大畑少年センターは、平成元年統合のために閉校になった小学校校舎を改装し、子どもの遊びと研修の施設として造られました。新潟市の中心部に位置し、都市型集団宿泊施設としての機能をもっています。特に夏休みには、子ども会や少年団体の宿泊を通じた活動であふれています。

今回は、“何事にも挑戦しよう”をテーマに掲げた「小さな冒険学校」を紹介します。

2 事業の実践から

対象は、小学校5、6年生20人です。野外で遊びの経験の少ない子どもたちに、春、夏、冬と時季に応じたプログラムを提供しています。いずれも1泊2日です。

第1回 テント泊や野外料理づくりに挑戦しよう

センターの中庭でのテント設営です。初めて設営する子どもがほとんどで随分時間をかけていました。指導スタッフは、設営の仕方を説明するとできるだけ手を出さないようにしています。やっと設営した子どもたちは、早速テントの中に入りがやがや楽しそうに会話しています。設営を通じた仲間づくりです。夜はテントの中から顔を出しビルの谷間の星空を見上げていました。

翌朝、海へ出たの小アジつりです。何匹ものアジがかかってくるたびに歓声が聞こえてきました。



野外炊飯

第2回 自然の家でカヌーや野外料理づくりに挑戦しよう

今回の挑戦はカヌーです。初めてカヌー体験した子どもは、次のような感想を述べています。「転んで水の中に沈みそうで恐ろしかった。」「最初、揺れたり、ぐるぐる回ったりしてまっすぐ進めなかった。」「パドルの操作がうまくいか不安だったが、意外とうまくいってうれしかった。」と、子どもたちは、未知の体験への不安、水面で操作する困難さを乗り越え、カヌーを漕ぐことができた成就感を味わっていました。

第2回 小さな冒険学校の日程

自然の家でカヌーや野外料理づくりに挑戦しよう

- 期日 平成17年9月17日(土)～18日(日)
- 会場 新潟県立少年自然の家(中条町)
- 対象 野外活動に興味ある5、6年生 15人
- 主なプログラム

9月17日(土)	9月18日(日)
8:00 新潟駅集合	6:00 起床
JRとバスで自然の家へ	6:50 朝のつどい
10:30 開講式 テント泊準備	7:00 ホットドックづくり
12:00 昼食(持参した弁当)	8:30 クラフトかおりエンターリング
13:00 カヌー体験	11:00 後始末
16:00 野外炊飯 夕食づくり	11:30 昼食(食堂)
16:50 タベのつどい	12:00 閉講式
18:00 夕食	バスとJRで新潟駅まで
19:30 交歓・交流会	新潟駅で14:40解散
21:30 テント泊	

- 参加費 4,000円
(3食食材及びクラフト材料費、保険料、切手代等)
他に新潟駅から中条駅までの交通費が必要
- 指導者 自然の家職員、野外活動インストラクター
大畑少年センター所員

第3回 胎内の自然の中で滑って転んでスキーに挑戦しよう

活動終了後のアンケート結果です。子どもたちは「とても楽しかった93%」「まあまあ楽しかった7%」特に楽しかった理由として、「スキーの初歩的なことから教えてもらった86%」「スキー技術が上達した79%」「多くの人と交流でき友だちもでき嬉しかった93%」「みんなと楽しく滑れたからよかった97%」など、スキーの楽しさや仲間づくりに大きな成果を上げています。

3 今後の方向

最近の子どもは遊びを知らない、外での遊びがないなどよく耳にします。実際の調査からも、「ザリガニ取りをしたことがない、ナイフで枝を切ったことがない、川で泳いだことがない」と、自然の中での体験活動が極端に少ない調査結果がでています。また、自然体験が豊富な子どもほど、道徳観や正義感が充実しているともいわれます。

これからも、意図的、計画的に自然にふれる機会や場を提供することが重要です。当センターでは、子どもの奥底に内在している冒険心や挑戦する心をはぐくむ事業を開発し、心豊かでたくましい子どもの育成を図っていきたく考えています。